

第2回 下田市立中学校再編検討会議 会議録

日 時 平成 28 年 12 月 26 日（月）午後 6 時 30 分から午後 8 時 25 分

場 所 下田市立中央公民館 2階 大会議室

出席者 会長及び副会長、委員 24 人 事務局 6 人 計 32 人

会長	佐々木 文夫	下田市教育長
副会長	森本 幸平	下田市校長会会長兼下田市立下田小学校校長
委員	竹内 信子	下田市立稲梓小学校校長
委員	山田 浩	下田市立稲生沢小学校校長
委員	山梨 隆史	下田市立白浜小学校校長
委員(欠席)	黒田 英津子	下田市立浜崎小学校校長
委員	渡邊 篤之	下田市立大賀茂小学校校長
委員	進士 真	下田市立朝日小学校校長
委員	森本 秀樹	下田市立稲梓中学校校長
委員	鈴木 徹弥	下田市立稲生沢中学校校長
委員	猪ノ原 克己	下田市立下田東中学校校長
委員	渡邊 久志	下田市立下田中学校校長
委員	土屋 英典	下田市立稲梓小学校 P T A 会長
委員	今井 弘興	下田市立稲生沢小学校 P T A 会長
委員	飯田 雅之	下田市立白浜小学校 P T A 会長
委員	金指 好則	下田市立浜崎小学校 P T A 会長
委員(欠席)	田中 美和	下田市立下田小学校 P T A 会長
委員	若森 千枝	下田市立大賀茂小学校 P T A 会長
委員	鈴木 勉	下田市立朝日小学校 P T A 会長
委員	後藤 則一	下田市立稲梓中学校 P T A 会長
委員	植松 直也	下田市立稲生沢中学校 P T A 会長
委員	土屋 考史	下田市立下田東中学校 P T A 会長
委員	若林 僚	下田市立下田中学校 P T A 会長
委員(欠席)	渡邊 金富	下田市区長連絡協議会下田地区会長（中央区長）
委員	渡邊 洋之	下田市区長連絡協議会稲生沢地区会長（東本郷区長）
委員	山田 徳次	下田市区長連絡協議会稲梓地区会長（箕作区長）
委員	外岡 勝博	下田市区長連絡協議会朝日地区会長（大賀茂区長）
委員	増田 信隆	下田市区長連絡協議会浜崎地区会長（柿崎区長）
委員	鈴木 康	下田市区長連絡協議会白浜地区会長（板戸区長）
事務局長	峯岸 勉	下田市教育委員会学校教育課課長
事務局	山梨 弘樹	下田市教育委員会学校教育課参事
事務局	吉田 康敏	下田市教育委員会学校教育課学校教育係長
事務局	土屋 大祐	下田市教育委員会学校教育課指導主事
事務局	土屋 真一郎	下田市教育委員会学校教育課技師
事務局	原 隆史	下田市教育委員会学校教育課主事

1 開 会

<事務局長>

皆様、こんばんは。ただ今から第2回下田市立中学校再編検討会議を開会します。私は下田市教育委員会学校教育課長の峯岸と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。それでは、次第に従いまして、進行させていただきます。続いて、会長挨拶でございますが、会長であります佐々木教育長より挨拶を申し上げます。

2 会長挨拶

<会 長>

皆様、こんばんは。暮れの押し迫ったお忙しい中、第2回中学校再編検討会議にご出席いただきましてありがとうございます。また、先の11月30日には、お忙しい中、委員の皆様と事務局の計15人で稲生沢中学校と下田中学校を視察させていただきました。視察に参加された委員の皆様、ありがとうございます。報告書につきましては、開催通知に同封させていただきました。お読み取りいただいておりますので、ご質問等ございましたら後ほどお伺ひしたいと思います。

本日の会議の内容でございますが、まず議事にございますとおり、(1)下田市立中学校再編に係る保護者説明会概要報告、(2)中学校再編に係るアンケート調査報告、(3)新中学校の必要面積及び事業費等についてを事務局より、一括説明させていただき、その後、質疑時間を設けさせていただきたいと思ひます。続きまして今回は、中学校区単位に分かれていただきまして、①校舎位置の方向性、②校舎建設手法(新設・改修)の方向性、③通学補助の方向性、④その他、1校化する上での課題とその方向性について、以上、4点について皆様のご意見を伺ひたいと思ひます。今回の中学校区単位にさせていただきました理由としましては、小グループの方がより意見が出やすいのではということ、考えさせていただきました。また、通学等についてもそれぞれの地区によっても課題も異なってくると思われまふ。ぜひ、忌憚のない意見交換をしていただきますようお願ひいたします。その後、各学区別に出された意見を発表していただきたいと思ひます。以上のような流れで進めさせていただきますのでよろしくご審議ください。

最後に今回出された意見につきましては、第3回の会議に報告書としてまとめさせていただきますと思ひます。本日は、どうぞよろしくお願ひいたします。

<事務局長>

ありがとうございます。続きまして、次第を進める前に、本来であれば、本日会議に出席していただいております皆様方、一人ひとりをご紹介させていただきたいのですが、本日配布しております名簿により紹介と代えさせていただきます。

それでは次に進めさせていただきますが、検討会議設置要綱第4条第1項により会長が議長となりますので、これからの会議の進行については、会長にお願ひしたいと思います。よろしくお願ひします。

<委員(区長)>

議事に入る前ですみませんが、今回、かなりボリュームのある会議内容になると思ひますが、時間配分はどのような形で進めるのか、お伺ひしたいのですがよろしいですか。

<事務局長>

今、大凡18:30位ですが、これから議事にあります、(1)から(3)の3点について、事務局から一括説明にて19:00位まで、それから(4)学区別意見交換を19:45位まで、その後、4つ中学校区がありますので、その発表を各学区5分程度で行っていただきます。次に全体を通しての

質疑時間を設けまして、閉会予定時間につきましては、20:30頃を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

<委員(区長)>

わかりました。

<会 長>

それでは、次第を進める前に、事務局から配布資料について、説明を求めます。

<事務局>

— 配布資料説明 —

3 議 事

(1) 下田市立中学校再編に係る報告書保護者説明会概要報告

(2) 中学校再編に係るアンケート調査結果報告

(3) 新中学校の必要面積及び概算事業費等について

<会 長>

それでは、次第3 議事に進めさせていただきます。議事の(1) 下田市立中学校再編に係る報告書保護者説明会概要報告、(2) 中学校再編に係るアンケート調査結果報告、(3) 新中学校の必要面積及び概算事業費等について 事務局からの一括にて、説明を求めます。

<事務局>

— 説明会概要報告、アンケート結果報告、新中学校概算事業費等について、説明 —

<会 長>

ただ今の説明に関しまして質疑などはありませんか。

<委員(区長)>

この後の意見交換に入る前に2点、確認させていただきたいことがあります。まず1点目ですが、4校を1校にするということで進んでおりますが、部活動はどのくらいになるのかお伺いしたい。それによって、新中学校のグラウンドの大きさなどにも関係してくる部分もありますので、現時点での考えをお願いしたい。続いて2点目ですが、保護者説明会やアンケート結果の資料を見ますと保護者の方は通学費がどのようになるのかという部分が非常に重要であると認識しております。そういったことから、本日の配布資料にもありますが、稲生沢地区の市長と語る会において、市長に対しまして、学校再編の過去の経緯から今回、失敗は避けられないなかで、保護者の通学費負担に対する質問をさせていただきました。前回のアンケート結果でどちらとも言えないと回答されている37%の数字はこういったところからきているのではないかという旨や市長の政治姿勢としてどうするのかという部分も併せて質問をさせていただきました。その際の市長の回答として、市長は全額負担をする旨を回答されたと思われまます。私一人では、説得力不足との懸念から自分の補助をしてほしいという思いもあるので、当日は区役員5人で説明会に参加したのですが、その区役員に確認しても全額補助をすると回答したという結論に至りました。しかし、今回の参考資料として配布されているなかにもその部分が触れられておりません。これは財政当局との協議でその部分の記述に関して制限をしているのかどうかわかりませんが、その部分に関して説明をお願いします。

<事務局長>

まず1点目の部活動についてですが、現在、部活としてありますテニス、卓球、バレー、バスケット、それから下田中にはサッカー部、剣道部などございますので、少なくともそういった部活をまずは存続させていただくような形で進めさせていただきたいと思っております。

<会 長>

補足させていただきますが、まずは現時点である部活については最優先として、存続をさせていただきたいと考えております。4校を1校化しますと生徒数がおおよそ400人、男女別にすると200人程度になり、かなりの部活を設置することができると思われます。その次の段階としましては、現在休部している部活動、あるいは今まであった部活動を中心に設置の検討をさせていただきたいと思っております。その中でこちらだけで決めるわけでもできませんので、実際に子どもたちにアンケートなどをとりながら、子どもたちが希望する部活動というものを、子どもたちの人数に合わせて、幅広い部活動を設置できるように検討をしていきたいと考えております。全体的には部活動は増えると考えていただきますようよろしくお願いいたします。

<事務局長>

2点目の通学補助の関係ですが、私もその市長と語る会に出席しておりまして、委員が通学補助の発言をしていただいたことを覚えております。今回配布しました参考資料にも記載しておりますが、白浜地区におきましても通学費の質問がございました。しかし、その際、市長は全額補助をすると発言はしておりません。現在、通学補助として中学生に対し1/2補助をしておりますが、現在、負担している以上の負担はさせないと発言をさせていただいております。教育委員会としましては、この通学補助に関し、現在も財政当局と調整をさせていただいている段階でございます。

<副 会 長>

前回の会議の中でもPTA会長さんから、なかなか自分の意見を自由に発言できないということがありましたが、この検討会議の主旨であるあくまでも意見を聞くことという部分を注視すれば、今から行う意見交換というものは非常に意義のあることだと思います。また、事務局の方でも前回意見として出ました4中学校の維持管理経費やアンケート結果、スクールバス試算など、きめ細かく丁寧な資料を誠実に提供していただき、本当にありがたいと思っております。しかし、その資料を見ますとあまりにも額が大きすぎるので、それが実現可能なのかという部分もあります。これから意見交換をするにあたって、ある程度そういった金額的なものを外した中での検討を行うということによろしいでしょうか。

<事務局長>

委員の皆様には今回次第にも記載させていただいておりますが、4つの点についてご意見を頂きたいということで会議を開かせていただいております。①校舎位置の方向性、②校舎建設手法の方向性、③通学補助の方向性、④その他、1校化する上での課題抽出になります。お金が工面できるかどうかという部分でございますが、それはまた後の話になって参りますので、今回の意見交換につきましては、自由な中で検討をしていただきたいと考えております。

<委員(校長)>

確認のためお伺いしますが、まず、意見交換の中ではあくまでも希望的な部分も含めて、自由に討論をするということによろしいでしょうか。また、校舎位置についても検討する中で最終的にどちらかになることができない場合は併記という形で対応するということによろしいでしょうか。

<事務局長>

はい、その通りで意見交換をしていただければと考えております。

<会 長>

自由な意見交換をお願いしたいのですが、委員の皆様には、参考として資料を配布させていただいておりますので、そちらを読み取りながら意見交換をしていただきますようよろしくお願いいたします。

<委員(区長)>

4校を1校化し、稲生沢中学校か下田中学校かということで、現在検討をしているということだと思います。しかし昨今の新聞報道等で、市長の考えとして稲生沢中の近くに土地を取得して、市庁舎を検討しているという形になっていると思われます。そうしますと既存の稲生沢中に庁舎と校舎ということは物理的に不可能だと思います。市長は自衛隊出身であり、また連隊長までやっていた方でもあるので、今回の考えについては、曲げることはないと思われます。そういった中で稲生沢中についての検討を行うことがどうなのかという部分がありますが、その点についてお伺いしたいのですがよろしいでしょうか。

<事務局長>

市庁舎の関係ですが、市長はあくまでも国道414号線沿いに市庁舎を検討したいということで発言をされております。今、委員が発言をされました稲生沢中の近くの土地等については、教育委員会としましても全く把握しておりません。市庁舎につきましては、国道414号線沿いということで検討を進めていただきたいと思いますと考えております。

<会 長>

市長の発言につきましては、確かに国道414号線沿いということで言われておりますが、教育委員会としましては、当初から委員の皆様をお願いしており、稲生沢中学校か下田中学校かという部分で校舎位置についてお伺いしております。先ほどの通学費の部分と通ずる部分もありますが、皆様から頂いたご意見を教育委員会としましては、なるべく沿うような形で今後、検討を進めて参りたいと考えております。これから行います中学校学区別意見交換につきましてもぜひとも忌憚のないご意見をいただければと考えておりますのでよろしくお願ひします。

(4) 中学校学区別意見交換

<会 長>

時間も少し超過しておりますので、何かご意見がございましたら、意見交換の際に事務局の人間が各地区を回りますので、その際にお声掛け頂き、その中で対応をさせていただければと思います。それでは、議事の(4)中学校学区別の意見交換について、事務局から説明を求めます。

<事務局>

— 中学校学区別意見交換について、説明 —

【学区別意見交換】

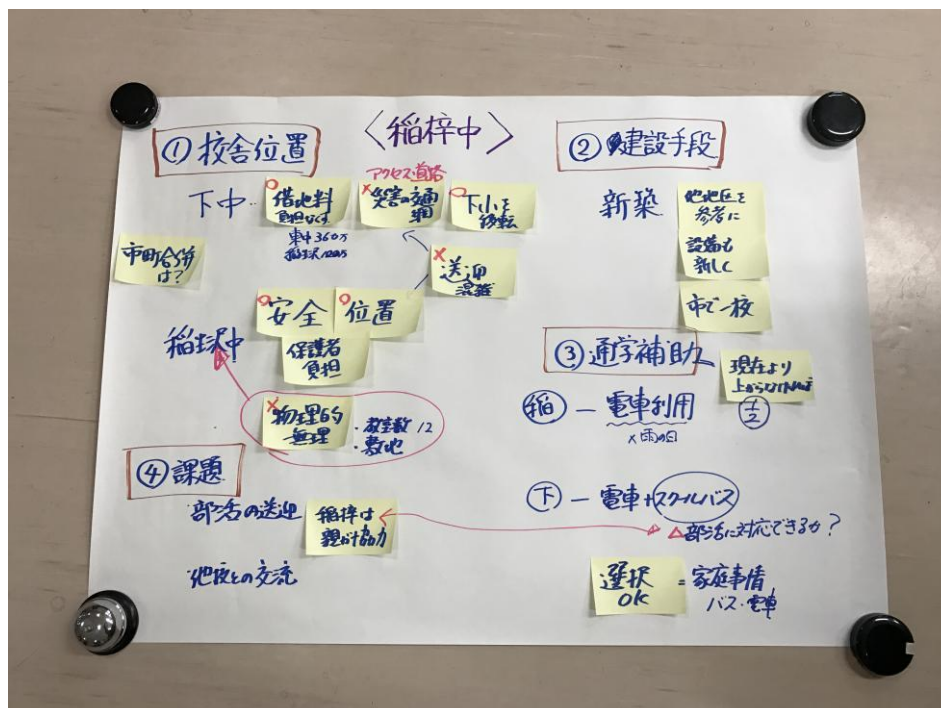
- ① 校舎位置の方向性
 - ② 校舎建設手法(新設・改修)の方向性
 - ③ 通学補助の方向性
 - ④ その他、1校化する上での課題とその方向性
- ※①から④の順に、検討事項ごとで意見交換を実施。

【学区別意見発表】

- ① 稲梓中学校学区
 - ② 稲生沢中学校学区
 - ③ 下田東中学校学区
 - ④ 下田中学校学区
- ※①から④の順に、意見発表を実施。

意見発表内容

① 稲梓中学校区



【校舎位置の方向性について】

- ・ 稲生沢中学校は教室数や敷地を考えると物理的に無理である。
- ・ 下田中学校の不安としては、災害時孤立してしまう。交通網がない中、送迎が困難。
- ・ そういった部分を踏まえるとアクセス道路整備をより進めてもらいたい。
- ・ 下田小を下田中跡地に移転した方が良いという意見。
- ・ 一番大事なのは、子どもの安全を確保することが大切であるという結論に至った。

【校舎建設手法の方向性について】

- ・ 全員が新築という意見。
- ・ 下田市内で1校にするのだから、子どもたちに新しい環境の中で学んでもらいたい。
- ・ 他地区の再編モデルを参考に今後、検討をしてもらいたい。

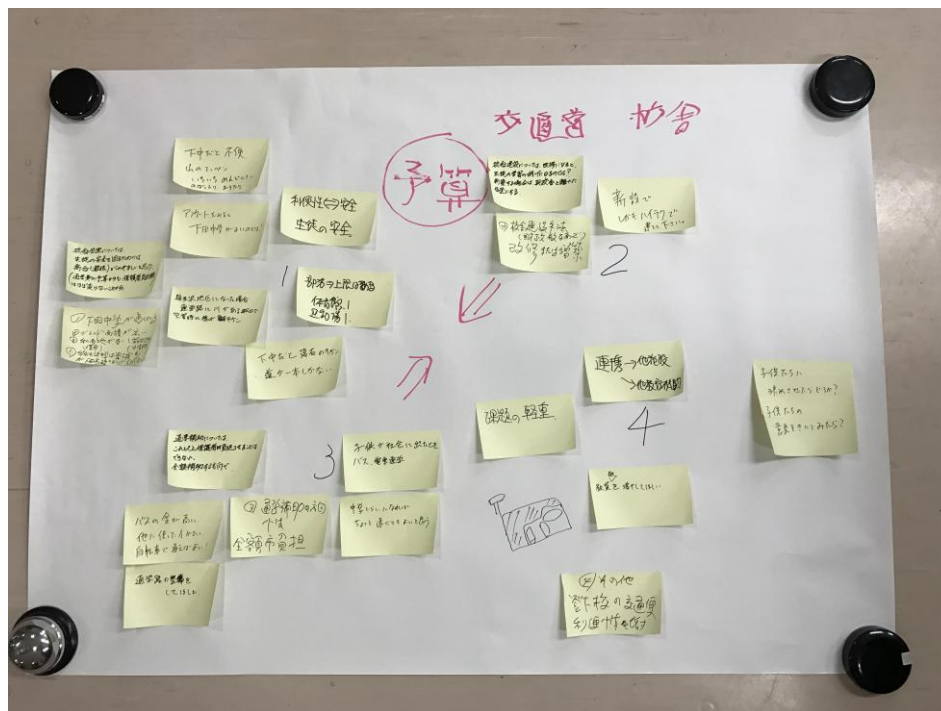
【通学補助の方向性について】

- ・ 可能であれば全額補助をお願いしたいが、既存1/2補助で現在の負担以上にならない方が良い。
- ・ 稲生沢に通学する場合は電車通学も可能、下田中の場合は電車通学プラス下田駅からスクールバス運行も考慮すべき。
- ・ 家庭事情もあるので、バス、電車、自家用車送迎など選択を可能にしてほしい。

【その他、一校化する上での課題とその方向性について】

- ・ 部活に係る送迎について、部活ごとに時間が異なるのでその対応について心配である。
- ・ 現在の稲梓中では、部活に係る送迎については、皆で助け合って協力し、対応をしている。
- ・ 再編するまでの間に各校との交流をより深めるような手段を検討してもらいたい。

② 稲生沢中学校区



【校舎位置の方向性について】

- ・校舎については、利便性か安全性かという論点になり、やはり安全性が重要。
- ・安全性を踏まえると下田中が望ましい。また市有地であることから予算的にも良い。
- ・下田中は高台であり、部活動などを考慮すると敷地も広く、近隣に市民スポーツセンターや敷根公園があるため、それらを活用することができる。
- ・高台のため、通学は大変で落石危険箇所もある。しかし、トータルで考慮すると下田中が望ましい。

【校舎建設手法の方向性について】

- ・新築が望ましいが、市の財政的な面から考慮すると改築なのではないか。
- ・校舎改修工事時に通学している生徒のことを考慮すると授業の妨げにもなるので、可能であれば、別のところでの新築が望ましいという意見。

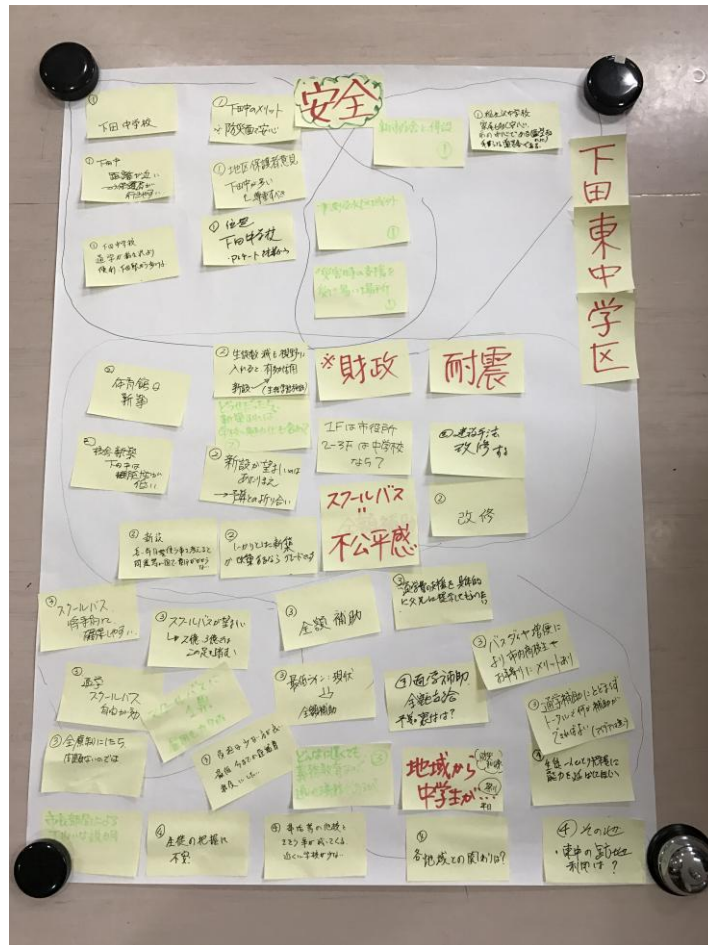
【通学補助の方向性について】

- ・バス代は高いがやはり全額補助にするとともに、自転車通学についても拡充すべきである。
- ・バス会社に対しても経済的効果が生まれ、路線維持に繋がる。
- ・中学生くらいの年代であれば、少しくらい遠くであっても構わない。

【その他、一校化する上での課題とその方向性について】

- ・下田高校との連携を主にするのであれば、稲生沢中学校が良い。
- ・どちらにするか当事者である子どもたちに決めさせたらどうか。
- ・通学費に予算を使うのであれば、教員数を増やすための予算に使った方が良い。

③ 下田東中学校区



【校舎位置の方向性について】

- ・ アンケート結果を反映ということではないが、下田中という意見が多かった。
- ・ 稲生沢中という意見では、市庁舎と併設して校舎を建設するという意見。
- ・ 双方ともに、津波浸水区域外、災害時に拠点となることなどの安全性が一番重要であるという部分では一致した。

【校舎建設手法の方向性について】

- ・ 財政ありきの結論だが、新築が望ましい。しかしながら厳しいことが想定されるので、改修となった場合は、最低でも耐震性を、安全面を第一に検討してもらいたい。

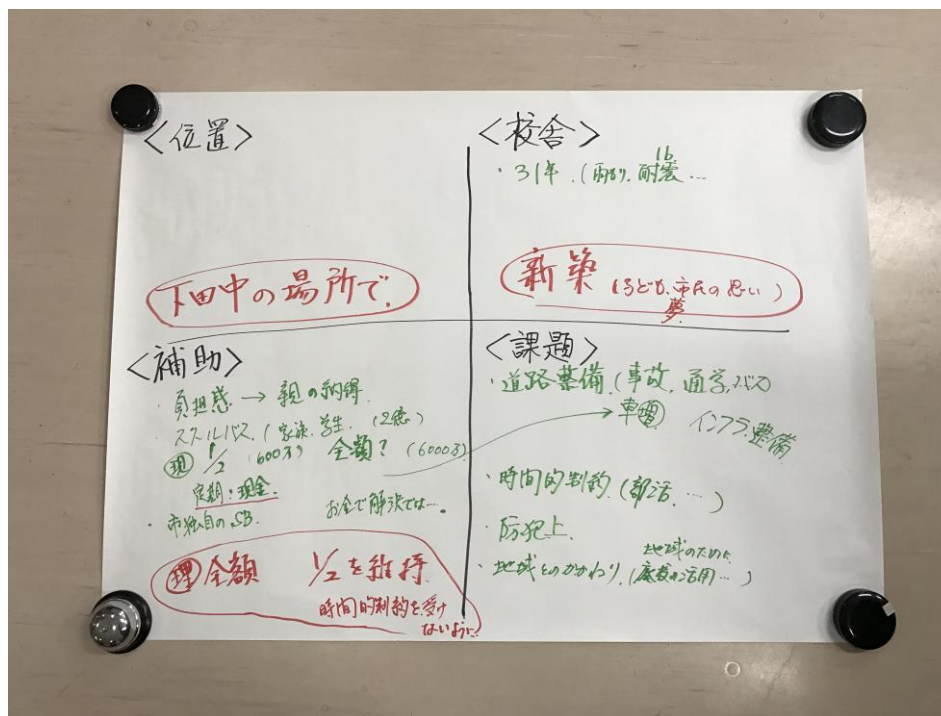
【通学補助の方向性について】

- ・ スクールバスが良いが、生徒は長い時間乗車しているので、その時間についても不公平感がないように検討してもらいたい。
- ・ 補助を行うのであれば、全額負担が望ましいが、最低でも現状の1/2補助以上となるように検討願いたい。

【その他、一校化する上での課題とその方向性について】

- ・ 東中の跡地利用についての検討。
- ・ 各地域に中学生がいなくなるため、防災訓練や祭り等、地域行事への対応がどうなるのかという懸念。
- ・ 部活動の他校との交流が少なくなるため、その部分でどう対応をしていくのか。
- ・ 生徒が多くなると一人ひとりの把握が困難になる。
- ・ 市長部局による丁寧な説明を求めたい。

④ 下田中学校区



【校舎位置の方向性について】

- ・ 下田中学校区であるので、当然、下田中学校が望ましいというところから議論をスタートしている。

【校舎建設手法の方向性について】

- ・ 現在の校舎は建築から 30 年以上経過していることもあり、雨漏り、耐震等を考慮するとやはり新築が望ましい。
- ・ 4 中学校を 1 校化するため、新築により子どもたちに夢を持たせることができる。

【通学補助の方向性について】

- ・ 親の通学に対する負担感をどう納得させるのかが重要であり、例えば家族パスや小中学生が利用可能な定期を発行するなどの工夫をすべきではないか。
- ・ スクールバスについても市保有バスによる送迎も予算的な面からも検討すべきである。
- ・ 通学補助になるのであれば、理想を言えば全額負担が望ましい。しかし、親の負担感を考慮しながら、最低でも 1/2 補助以上は維持してもらいたい。

【その他、一校化する上での課題とその方向性について】

- ・ 通学に対する時間的な制約をどう対応していくのか（部活動等の時間を含め）。
- ・ 現状でも下田中付近の道路は事故等が発生する可能性があり危険であるため、今後の自転車通学や親の送迎などを考慮した上でのインフラ整備も必要となる。
- ・ 下田中は防災面では高台にあるため良いが、高台にあるがために防犯面においては心配な面があるので、その対応をどうしていくのか。
- ・ 地域との関わり合いをどうしていくのかと同時に、校舎の跡地利用についても具体的な検討を行うべきである。

<会 長>

ありがとうございました。4中学校区の意見発表をしていただき、校舎位置については双方意見があるという部分はございますが、まずは子どもたちの安全を確保すること、このことが一番重要であるというところを把握することができました。今回の内容につきましては、次回第3回検討会議の際にまとめさせていただきます、報告をさせていただきます。意見発表は終了しましたが、委員の皆様からここだけは要望したいこと、検討をお願いしたいということがありましたら、ご発言をお願いします。

<委員(PTA)>

スクールバスというイメージが具体的につかめていないですが、公共交通機関を活用した通学費補助の方が、中学生世代には望ましいと考えています。自分の足で通うことにより、子どもたち自身が時間の確認であったり、その他の社会性を養う部分でも色々と学ぶ部分が多いと思います。そういった広い意味を含めた上で、通学費補助という部分での検討をぜひともお願いしたいと思いません。

<会 長>

ありがとうございます。

<委員(区長)>

意見交換やアンケートなどからも、校舎の跡地利用について、中学校再編と同時並行に検討するべきで、この問題は教育委員会だけの問題ではなく、市長部局を含めた市全体で検討すべきだと思います。33年まで待つのではなく、組織を立ち上げ、一刻も早く地域に入るべきだと思います。

<会 長>

ありがとうございます。大分、方向性については見えてきているのではないかと感じておりますが、そういった中で跡地利用につきましても教育委員会だけでは対応できない部分もございますのでその旨、今後、市長部局との協議の中でもしっかりと対応をさせていただきたいと思いません。

<委員(PTA)>

伊豆縦貫道の出口が下田中付近にできるという話もありますが、敷根にある道路の事故等への安全面に対する検討をしっかりとさせていただきたい。現市長は、市長選において、市庁舎は敷根では危ないというアピールのもと、市長になりました。その危険であるという認識があるのに関わらず、中学校をその場所に持っていくという部分を突っ込まれたとき、どう対応をしていくのか、お伺いしたいです。

<会 長>

そういった部分につきましても市長部局との協議をしっかりとしながら、報告書においては、方向性としては示すことができるのではないかと思います。敷根は危ないという土地については、現下田中付近ではなく、敷根の道路の途中の私有地のことになるわけですが、当然、そこは通学路にもなりますので、そういった危険に対する検討についても教育委員会だけではなく、関係部局と調整した上で検討をさせていただきたいと思いません。また、伊豆縦貫道出口の関係ですが、この出口ができることにより、稲梓地区からの送迎という部分で、また、稲生沢においても蓮台寺にICができるという話も聞いており、双方ともに上手く活用することができるのではないかと考えております。

その他、何かございますか。今後、どうしてもこういった部分を意見したいということがございましたら、遠慮なく教育委員会へ連絡をしていただければと思いますので、どうぞよろしく申し上げます。

4 その他

<会 長>

それでは、次第4 その他に入らせていただきます。事務局方から何かございますか。

<事 務 局>

— 次回会議（2月）日程について、連絡 —

5 閉 会

<会 長>

それでは、これを持ちまして、第2回下田市立中学校再編検討会議を終了させていただきます。
委員の皆様方におかれましては、長時間にわたり、お疲れ様でした。